

大槌町の水環境についての調査にご協力ください

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 准教授 遠藤愛子
公立大学法人 北九州市立大学 准教授 加藤尊秋

総合地球環境学研究所では、2008年以来、大槌町のわき水や、そこに住むイトヨの保全と活用についての調査を続けてきました。これまでに、大槌湾の海底にあるわき水が魚介類を増やす可能性があるなど、興味深い事実がわかってきました。この調査では、水利用を中心にみなさまのお考えを伺います。どうぞ、ご協力をお願いいたします。

1. 生活のための水の使い方について伺います。

(1) 現在、お住まいの場所は、どちらですか。(○はひとつ)

- 自宅
- 仮設住宅
- その他 (ご記入ください)

(2) お住まいの場所で自然の水(わき水、地下水、井戸など)を使えますか。(○はひとつ)

- 使える
- 使えない

(3) 次に示す用途について、震災前は、どんな水を使っていましたか。(おもなものに○)

1) 飲用・炊事

- 町水道 わき水・井戸(地下水) 沢水・川の水
- 商店などで買う・もらう水(ペットボトルなど) その他()

2) 洗濯

- 町水道 わき水・井戸(地下水) 沢水・川の水
- 商店などで買う・もらう水(ペットボトルなど) その他()

3) シャワーや風呂

- 町水道 わき水・井戸(地下水) 沢水・川の水
- 商店などで買う・もらう水(ペットボトルなど) その他()

4) 庭仕事や洗車

- 町水道 わき水・井戸(地下水) 沢水・川の水
- 商店などで買う・もらう水(ペットボトルなど) その他()

(4) 現在、水の入手にどの程度の費用をかけていますか。

- ・町水道の料金 月額 千円程度
- ・商店などで買う水(お使いの方のみ) 月に 千 百円程度

・わき水・井戸（個人でお使いの方で電気代や維持費がかかる場合）

月に _____ 千円程度

(5) 2011年の東日本大震災直後の2ヶ月間、大槌町にいましたか。(○はひとつ)

() いない ⇨ 「次のページの質問2へ」

() いた
□
↓
「質問(6)(次の質問)へ」

(6) 町水道の仮復旧(2011年5月ごろ)まで、おもにどちらに滞在されましたか。

(○はひとつ)

() 避難所

() 自宅

() 親族や友人・知人宅

() その他 ()

(7) 震災直後の1週間は、どのように水を確保しましたか。(おもなものに○)。

1) 飲用の水分

〔 わき水・井戸(地下水) 沢水・川の水 給水車 避難所等で配給される水や飲み物
商店や自販機での購入・無料配布 その他 () 〕

2) 炊事用の水

〔 わき水・井戸(地下水) 沢水・川の水 給水車 避難所等で配給される水
商店や自販機での購入・無料配布 炊事はしていない
その他 () 〕

3) 洗濯用の水

〔 わき水・井戸(地下水) 沢水・川の水 給水車 避難所等で配給される水
商店や自販機での購入・無料配布 洗濯はしていない
その他 () 〕

4) 体を洗う水

〔 わき水・井戸(地下水) 沢水・川の水 給水車 避難所等で配給される水
商店や自販機での購入・無料配布 体は洗っていない
その他 () 〕

(8) その後の1ヶ月ほどは、どのように水を確保しましたか。(おもなものに○)。

1) 飲用の水分

〔 わき水・井戸(地下水) 沢水・川の水 給水車 避難所等で配給される水や飲み物
商店や自販機での購入・無料配布 その他 () 〕

2) 炊事用の水

わき水・井戸（地下水） 沢水・川の水 給水車 避難所等で配給される水
商店や自販機での購入・無料配布 炊事はしていない
その他（ ）

3) 洗濯用の水

わき水・井戸（地下水） 沢水・川の水 給水車 避難所等で配給される水
商店や自販機での購入・無料配布 洗濯はしていない
その他（ ）

4) 体を洗う水

わき水・井戸（地下水） 沢水・川の水 給水車 避難所等で配給される水
商店や自販機での購入・無料配布 体は洗っていない
その他（ ）

2. 大槌町には豊富なわき水や沢水があります。これについて伺います。

(1) どんなよさがあると思いますか。(○はいくつでも)

- () 無料や安い費用で水が使える
- () おいしい水が使える
- () 水産業など町の産業に役立つ
- () 希少生物など、自然の豊かさを支えている
- () 水神様など、信仰の核となっている
- () 非常時に水源として役立つ
- () その他（ ）

(2) 大槌町のわき水についてどの程度ご存知ですか。(○はひとつずつ)

	初めて聞いた	聞いたことがある	よく知っている
大槌のわき水には、大槌川と小槌川が重要な役割を果たしている			
大槌の町方には、もともと 200 箇所ほどの自噴するわき水があった			
大槌湾・船越湾には、海底からのわき水がたくさんある			
海底のわき水は、湾内に様々な栄養分（栄養塩類）を供給している			
サケはわき水の出ている河床で産卵する			
わき水や伏流水(地下の流水) によってサケのふ化事業ができる			
大槌の湧水には、貴重な魚である淡水型のイトヨが生息している			
大槌では、津波により淡水型と海に出る降海型のイトヨとが混ざり、新たな種類のイトヨが生まれつつある			

3. 日本各地の町でわき水や沢水の共同利用が行われており、観光名所になっている所もあります。右の写真は、岐阜県郡上市の共同井戸の例です。近所の人達により、きれいな状態に管理されています。

現在、大槌町では、土地のかさ上げにより、身近なわき水が減りつつあります。私たちは、共同で維持や清掃を行うしくみを作ることにより、わき水や沢水を身近に使える場所を残せないか、調べています。



共同で使う井戸（岐阜県郡上市延命地蔵横）

仮に、あなたが今後住むであろう地区に共同できれいなわき水（地下水）や沢水を利用できる井戸を作り、近隣に住む人々が維持・管理をする計画があるとします。いくつかの案を示しますので、一番良いものを選んで下さい。なお、この水は、日常時や災害時の飲み水としても利用可能で、誰でも使えます。

（１）次の案の中では、どれが一番よいですか。

[案１] 共同井戸は、自宅から 10m。年間の管理費なし。毎週 1 回掃除当番あり。

[案２] 共同井戸は、自宅から 50m。年間 1 世帯あたり 1,000 円の管理費。毎月 1 回掃除当番あり。

[案３] この地区には、共同井戸を作らない

案()が一番よい

（２）それでは、次の案の中では、どれが一番よいですか。

[案１] 共同井戸は、自宅から 50m。年間 1 世帯あたり 500 円の管理費。毎月 1 回掃除当番あり。

[案２] 共同井戸は、自宅から 100m。年間 1 世帯あたり 100 円の管理費。管理の手間なし。

[案３] この地区には、共同井戸を作らない

案()が一番よい

（３）それでは、次の案の中では、どれが一番よいですか。

[案１] 共同井戸は、自宅から 100m。年間の管理費なし。毎週 1 回掃除当番あり。

[案２] 共同井戸は、自宅から 10m。年間 1 世帯あたり 1,000 円の管理費。毎月 1 回掃除当番あり。

[案３] この地区には、共同井戸を作らない

案()が一番よい

(4) 最後に、次の案の中では、どれが一番よいですか。

[案1] 共同井戸は、自宅から 100m。年間 1 世帯あたり 500 円の管理費。管理の手間なし。

[案2] 共同井戸は、自宅から 10m。年間 1 世帯あたり 100 円の管理費。毎週 1 回掃除当番あり。

[案3] この地区には、共同井戸を作らない

案()が一番よい

4. あなたご自身についてお答え下さい。

(1) 性別に○をつけてください [男性 女性]

(2) 年齢に○をつけてください

[10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上]

(3) 震災前に住んでいた地区名 (震災後に大槌町に転居した方は、「町外」とご記入ください)

()

(4) 同居している家族の人数

(人)

(5) 同居するご家族の中に次の方がいれば、○をつけてください。(○はいくつでも)

[小学生以下の子ども 中学・高校生 65歳以上のお年寄り]

(6) 職業に○をつけてください (○は1つ)。

[公務員 会社員・会社役員 団体職員 自営業・自由業 パート・アルバイト
学生 主婦・主夫 無職 その他]

(7) お仕事をされている方は、勤務先の業種に○をつけてください (○は1つ)。

[漁業 農林業 鉱業 建設・土木業 製造業 電気・ガス・水道業
通信業 情報サービス業 運輸・郵便業 卸売・小売業 金融・保険業
不動産・物品賃貸業 研究・専門技術関連 宿泊・飲食業 教育・学習支援業
医療・福祉 その他 ()]

(8) 現在、地域の活動に参加されていますか。あてはまるものがあれば、○をつけてください (○はいくつでも)。

[町内会 (自治会) 消防団 PTA 活動 祭りへの参加
ボランティア活動 その他 ()]

(9) もし、あなたが、今後10年間住み続ける地域を選ぶとしたら、次のどの条件が大切でしょうか。それぞれ1つずつ○をつけてください。

	全くそう 思わない	あまりそ う思わな い	どちらと もいえな い	ややそう 思う	非常にそ う思う
公園などの周辺公共施設の充実が大切					
自然環境が良いことが大切					
通勤通学の便がよいことが大切					
買い物が便利なのが大切					
快適な住宅であることが大切					
交通事故や犯罪が少ないことが大切					
働ける場所が多いことが大切					
芸術や文化に親しむ環境が大切					
福祉・医療施設が整っていることが大切					
災害の心配が少ないことが大切					